

「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康管理のあり方に関する専門家会議」中間取りまとめ
 参考文献[26] 2011年度 陰膳方式による放射性物質測定結果、生活協同組合コープふくしま
<http://www.fukushima.coop/kagezen/2011.html> (平成26年12月5日最終閲覧)

[▶ サイトマップ](#)



- [コープふくしまとは？](#)
- [組合員活動](#)
- [店舗案内](#)
- [eマガ](#)
- [共同購入](#)
- [くらしのべりり帳](#)
- [くらしサポート](#)

[トップ](#) > 2011年度 陰膳方式による放射性物質測定

<2011年度 陰膳方式による放射性物質測定調査結果（2012年4月7日更新）>

コープふくしまでは組合員さんの協力を得て、陰膳方式により実際の食事に含まれる放射性物質測定を進めています。

2011年11月から2012年4月までの期間に福島県内100世帯を対象に行った。



「コープふくしま・陰膳方式による放射性物質測定」
TV報道番組（動画）

<測定を進め方>

[2012年度の調査はこちらから>>](#)

測定場所 日本生活協同組合連合会 商品検査センター

測定機器 ゲルマニウム半導体検出器

測定時間 1 検体あたり測定時間は約50,000秒（約14時間）

検出限界値 1 ベクレル/kg

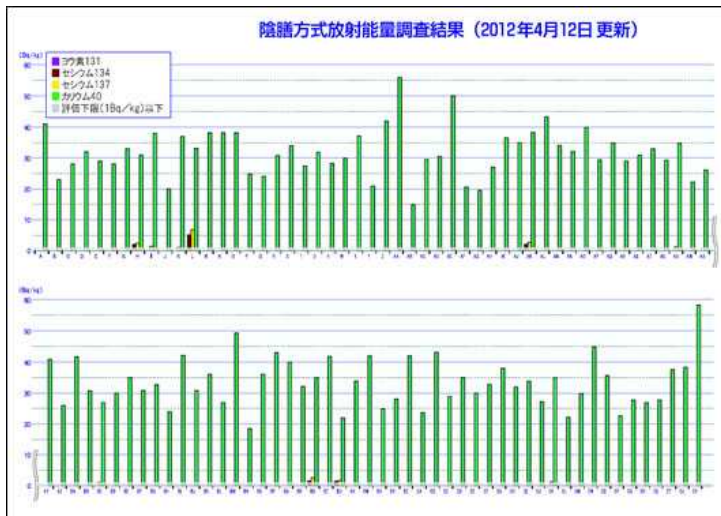
陰膳方式

↓

測定方法 毎食家族人数より1 人分余計に食事を作り、それを2日分（6食+おやつや飲料など含め）保存して検査センターに送り、検査センターにおいてミキサーで均一に混ぜ込み、その内1キログラムを検査試料として測定します。

<100世帯分の結果>

12月1日に公表させていただいた先行調査11家庭分から始まり3月末までに計100家庭分の測定を行いました。グラフをご覧ください。（グラフ中、セシウム137のみ検出されたIとKとAVとBCの方は、セシウム134が1ベクレル未満であるためです）



[【グラフ/PDF : 104KB】](#)

※カリウム40とは？

・通常の食材に含まれる天然の放射性物質です。

・成人男性の体内に平均4000ベクレルくらいあるといわれています。

<今回報告結果の特徴>

- (1) 実際の食材の産地傾向 調査にご協力いただいた100家庭中 9割以上のご家庭で福島県産の食材をご使用されていました。食品店で購入された食材、自家栽培の食材などさまざまです。天然のきのこをお召し上げりの方もいらっしゃいました。
食材産地のこだわりが特に大きい4世帯は、福島県産以外の材料で食事をされていました。
- (2) 測定結果値の概要
 - a) 100家庭中、1キログラムあたり1ベクレル以上のセシウムが検出されたのは10家庭ありました。(他の90家庭は放射性セシウムが含まれていたとしても1キログラム当たり1ベクレル未満であることを示しています)
 - b) 最も多くの放射性セシウムを検出した家庭の食事に含まれるセシウム137とセシウム134の量は1キログラムあたりそれぞれ6.7ベクレルと5.0ベクレルでした。この量は、100家庭いずれでも検出されている放射性カリウム(カリウム40)の変動幅(1キログラム当たり15ベクレル～58ベクレル)のほぼ4分の1程度でした。
 - c) セシウムが検出された家庭で、仮に今回測定した食事と同じ食事を1年間続けた場合の放射性セシウムの実効線量(内部ひばく量)を計算すると、年間合計約0.02ミリシーベルト～0.14ミリシーベルト以下となります。

<今後の測定の計画>

この測定は2012年度(2012年4月度以降)についても、コープふくしま、コープあいづ、福島県南生協の組合員さんにご協力いただき同様の規模で実施することを検討しています。

[ページのトップへ](#)

[トップページ](#) | [組合員活動](#) | [店舗紹介](#) | [共同購入](#) | [くらしのべんり帳](#) | [加入案内](#) |

生活協同組合

コープふくしま 〒960-8566 福島県福島市森合字清水7 コープマートいずみ2F TEL.024-557-1125

Copyright(C)2003-2008 CO-OP FUKUSHIMA. All rights reserved.